



彼らのためにできること

ドバト/ハト目/ハト科

奈良時代に伝書鳩として海外から持ち込まれた。

それが野生化して現在全国各地で爆発的に増え問題となっている。

本来は木の実、草の芽・実・葉などを食べ生活する。



ドバトを嫌われ者にしたのはわたしたち！！

今では街中や駅、公園などいたるところでドバトを見かけます。とても身近にいることから私達は安易に餌を与えてしまいます。

しかし、その行動がドバトを苦しめ、嫌われ者になっているのです。

ドバトたちは私たちが餌を与えてしまうことによって人間を恐らなくなってしまいます。そして餌を貰う為に人に近づき過ぎて交通事故に遭うケースが増えています。また、餌が沢山もらえるので繁殖もしやすくなり全国各地でその数を増やしていっています。

ドバトは年に何度でも繁殖が出来ます。1回の産卵で2個の卵を産み、約1ヶ月半くらいで1羽で生きていくようになります。そして巣立ったヒナも約6ヶ月もすれば繁殖が可能になります。

餌をもらうことにより、繁殖環境が良くなりすぎ、人間を恐らなくなってしまった結果、民家などでは糞による被害を受け、嫌われ者となってしまっているのです。



私達にできること・・・

交通事故にあって翼に怪我をしたりすると彼らは野生の中では生きていけません。そんな不幸な子が増えないようにするためには、餌を与えないことです。餌を貰うことが当たり前になってしまうと彼らは本来の生活から離れてしまいます。「餌を待ってるのにかわいそう」ハトたちが自分達の手で生きていけなくなり、交通事故に遭う確立が高くなってしまふ方がかわいそうではないでしょうか？

私達の行動一つで、彼らを救うことにつながるのです。